

様式第1号

会 議 録

|             |     |  |         |
|-------------|-----|--|---------|
| 会議の名称       |     | 令和4年度第3回つくば市公共交通活性化協議会   |         |
| 開催日時        |     | 令和4年(2023年)2月20日 開会 14:00 閉会 15:50   |         |
| 開催場所        |     | つくば市消防本部3階 多目的ホール1・2   |         |
| 事務局(担当課)    |     | 都市計画部総合交通政策課   |         |
| 出席者         | 委員  | 岡本委員(会長)、寺田委員(副会長)(代理:富山様)、新階委員(副会長)、國下委員※、仲野委員※、平根委員、東ヶ崎委員、松本委員、松橋委員、大原委員、澤畠委員、服部委員、海老澤委員、武藤委員、色川委員、今里委員、北島委員、柳田委員、長委員、星野委員、稲澤委員、鈴木(誠)委員、谷田部委員、大澤委員、鈴木(裕)委員、野澤委員、坂本委員、一色委員、飯田委員、小原委員、安曾委員、富田委員、大里委員<br>※はオンライン参加(2名)  |         |
|             | その他 |  |         |
|             | 事務局 | 中根次長兼都市計画政策監、伊藤課長、細谷課長補佐、田村係長、上田係長、井崎主任、宮本主事   |         |
| 公開・非公開の別    |     | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開  | 傍聴者数 2名 |
| 非公開の場合はその理由 |     |  |         |
| 議題          |     | <p>(1) 審議案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 案件1 令和4年度公共交通政策点検・評価業務について(最終報告)</li> <li>・ 案件2 つくバスの令和5年4月改正について</li> <li>・ 案件3 つくタクの令和5年4月改正について</li> <li>・ 案件4 新高校生等に対するリーフレットの配布(令和5年度入学生)計画について</li> </ul> <p>(2) 報告案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 案件1 令和4年度第3四半期までの利用実績について(つくバス・つくタク・つくばね号・路線バス運行実証実験)</li> <li>・ 案件2 つくタクの予約回数について</li> <li>・ 案件3 つくタク停留所のネーミングライツについて</li> <li>・ 案件4 つくタク小田シャトルの経路変更及びバス停留所の設置について</li> </ul> |         |

様式第1号

|   |       |                                     |       |          |
|---|-------|-------------------------------------|-------|----------|
|   |       | ・案件5 つくばスーパーサイエンスシティ構想（医療 MaaS）について |       |          |
| 会議録署名人  |       | —                                   | 確定年月日 | 令和 年 月 日 |
| 会議<br>次<br>第  | 1     | 開 会                                 |       |          |
|   | 2     | 挨 拶                                 |       |          |
|   | 3     | 議 題                                 |       |          |
|   | (1)   | 審議案件 4件                             |       |          |
|   | (2)   | 報告案件 5件                             |       |          |
|   |       | ※各案件項目は「議題」のとおり                     |       |          |
| 4   | そ の 他 |                                     |       |          |
| 5   | 閉 会   |                                     |       |          |
| <p>&lt;審議内容&gt;○：委員 ●：事務局</p> <p>・審議案件1 <u>令和4年度公共交通政策点検・評価業務について（最終報告）</u></p> <p>●事務局：資料1に沿って、令和4年度公共交通政策点検・評価業務の最終報告について説明。</p> <p>交通計画に定めた指標について、達成できていないものもあるが、各施策の実施を通じて、計画最終年度までに達成できるように取り組んでいく。</p> <p>つくタクの見直しの方向性について、令和7年度（つくタク事業の業務委託契約更新時）に、AI オンデマンドシステムの導入による、利便性の向上と収支率の改善など、つくタクの高度化を図る。短期的には現在のつくタク運行受託会社である株式会社セキショウキャリアプラスとの契約の範囲内で可能なマイナーチェンジや、スーパーシティ・スマートシティと連携した実証実験等によるつくタクの改善、効果検証を図る。</p> <p>○会 長：P21 ビッグデータによる目的地メッシュ分布に、筑波大学には2万人程の学生がいるが、色があまり変わっていない。学生のサンプル数が少ないのではないか。</p> <p>●事務局：サンプルとしているブログウォッチャーのプロファイルパスポートデータの特性上、20代以下と60代以上の割合が人口割合と比べると少なくなる結果になっている。正確につくば市の人口割合のデータが得られているわけではないが、大まかな傾向は把握できていると考えている。</p> |       |                                     |       |          |

## 様式第1号

○会 長：地元でスマホを契約し、つくば市内で契約していない地方から来た学生等の数は入っていないということはあるか。

●事務局：契約した場所は関係ない。100以上あるスマホアプリで本人の合意の下に取得されたGPS（位置情報）であり、地元で同意していればつくば市に来てデータとして提供される。

○委 員：AIのオンデマンドシステムの費用について説明いただいたが、P34システム費用のところに「△」がある。車両やオペレーターを削減し費用を抑えるとあったが、初期費用は大分かかると思う。ランニングコストは今までのものと比べるとどれくらいかかるか。

●事務局：AIオンデマンドシステムというのは色々な会社が出しているが、まだ、どの会社のサービスがつくタクに合うかを調べられていないため、イニシャルコスト、ランニングコストがいくらかかるかという踏み込んだ分析はできていない。本日の活性化協議会でこのまま進めて良いとなれば、来年度はどの会社のサービスのシステムが合うかを検討していくように考えている。

○委 員：P37つくバスの記載がないが、つくバスも含めた見直しを図るのか。

●事務局：つくバスに関しては今現在こちらには記載していない。公共交通改編で一度つくバスの路線を変えたが、ずっと固定するとは考えていない。人口が定着してきて、小学校が新しくできる状況等もあり、つくバスの路線変更の可能性も考慮しながら、最適な交通ネットワークを組み立てられるよう検討したい。

○委 員：P14改善してほしい点、利用しない理由で、利用者の31.8%が「利用したい時間帯に運行していない」と回答している。実際、具体的にどの時間帯で利用したいのか。

●事務局：これまでつくば市に寄せられた利用者の意見で多いのは、朝9時前の病院の最初の診察に間に合う時間帯である。そういった意見は定期的に利用者から聞くことがある。しかし、その時間帯は一般タクシー事業者の稼ぎ時でもあるため、民業圧迫にならない範囲内でやっていく必要がある。実際に今より早い時間帯・遅い時間帯に運行ができるかというのは、次年度以降にタクシー事業者を交え、可能性の検討していく必要があると考えている。

○委 員：コメントが2つある。P12満足度の図で、「バス車内の混雑度」に

「満足・やや満足」がとても多く、日頃乗り降りが大変なくらいの混雑したバスに行きも帰りも乗っているため、実感とかなり違うと感じた。ただ、回答者の中に利用頻度が「ごくまれに」を選ぶ方が多いので、利用者ではあるがヘビーユーザーではないと思う。もう一つは、P14 つくタクの利用状況が2.7%なので、今後利用料金や運行スキームの変更をしていくということで、非常に重要だと改めて思った。P3の指標1-2を見ると、年間収支率が下がってきており、実際にかかっている金額に対して、支払われている分が5.4%となっている。5.4%というのは、医療費の自己負担割合と比べると、相当自己負担の金額が安いと思う。現在、高齢者は同一地区内であれば150円で行くつくタクに乗り可能だが、例えば指標1-4に記載されている、利用者1人1回当たりの公的資金投入額の10%を負担してもらうとすると、300円位払うサービスと前提とした上でどのように選択するかを考える必要があるのではないかと。前提が変わると利用促進の考え方が変わるので、それを踏まえた議論ができるようなスケジュールを組んでいただければ良いと思う。

●事務局：市民配布アンケートのP14利用者が2.7%というのはわかっていたが、衝撃的な数字である。ここについてはつくタクのAI化で、WEBやアプリで簡単に予約できるようにし、間口を広げて利用者数の母数を増やしたい。中には、何度も電話しても繋がらないからと利用を諦めている市民の方がいると思うので、そのような方に、新しくなったつくタクは簡単に予約できるのだとアピールし、利用者数を増やしていきたいと考えている。

○会長：もう少し細かく分析をして、満足度の高い人はどういう人か、詳細に見てほしい。牛久市でも毎年満足度の調査をやっているが、満足度は結構低い。今回も満足度が低いというのは問題だと思うので、こういった部分の、満足度を訴えるような政策を始めてほしい。つくタクに関しては、筑波大学内で、市から提供を受けたデータ等を基に、配車効率のよいルート選定をできないかなど、研究テーマにしている学生がいるが、どうしても今の前提条件で維持しようとするのは無理があると思う。この会議にフィードバックできるような研究成果は出てきていない。つくタクの制約のどこかを緩めることで、良い結果になるのではないかと。例えば先約優先ではなくて、予約期間を1週間設け、予約希望を取りき

ってから一番乗合率の高いルートの予約者から優先して決定していくなど、色々なやり方があると思う。学生と相談しながら、AIではなくても改善できるところもあると思う。また、自動運転の話が色々な場所で盛り上がっている。グリーンスローモビリティ等、色々なモビリティが出てきているのを、つくば市内のどこで操縦するのが一番良いのかをもう少し総合的に議論できればと思う。

○会 長：各委員からの異論がないため、本案件について承認とする。

・審議案件2 つくバスの令和5年4月改正について

●事務局：資料2に沿って、つくバスの令和5年度4月の改正内容について説明。

○委 員：「沼田南」はわかりやすく「わんわんランド前」ではだめなのか。

●事務局：後ほど報告する来年度のネーミングライツ（報告案件3）の際に、手を挙げていただければと思う。

○会 長：各委員からの異論がないため、本案件について承認とする。

・審議案件3 つくタクの令和5年4月改正について

●事務局：資料3に沿って、つくバスの令和5年度4月の改正内容、つくタク特例ポイントの追加について説明。

○会 長：特例ポイントに設定する桜老人福祉センターはつくば市公共交通マップのどこにあるか。

●事務局：桜老人福祉センターはつくば特別支援学校の下にある県道の近くである。

○会 長：各委員からの異論がないため、本案件について承認とする。

・審議案件4 新高校生等に対するリーフレットの配布計画(R5)について

●事務局：資料4に沿って、新高校生等に対するリーフレットの配布計画(R5)について説明。

○副会長：これまでの利用実績についてとあるが、令和元年度まで期間が26日間だったものを、令和2年度以降は4月まで伸ばし49日間とした。令和3年度については路線バスだけでなくコミュニティバス

にも拡大して行ったが、コロナの影響もあり利用枚数は伸び悩んでいた。今は皆様外出するようになってきているので、今年は同じ条件で行う。来年度は夏休み頃に配布することを検討中である。

○会 長：夏休みに実施され配られる対象は中学3年生。学校を決める前に、バスで通える高校という選択肢が増えるのではないか。3月、4月だと新高校への入学が確定してからのお試し利用なので、時期が遅いのではないかと感じていた。ところで、この券はつくたくとつくバスで使うと2枚分無くなるのか。

●事務局：この券はつくたくでは使えない。なお、1乗降で1枚消費するため、つくバスと路線バスを乗り継いで使うと2枚しか無く、片道で使いきってしまう。

○会 長：各委員からの異論がないため、本案件について承認とする。

・報告案件1 令和4年度第3四半期までの利用実績について(つくバス・つくたく・つくばね号・路線バス運行実証実験)

●事務局：資料5に沿って、令和4年度第3四半期までの利用実績について説明。

○委 員：前回の協議会で意見の挙がった松代循環の利用者が松代南循環実証実験へ流れている可能性について、検証を行ったのであれば教えていただきたい。

●事務局：詳細は調査中であるが、関東鉄道からICカード利用の実績を貰い、松代循環と松代南循環の両方にある停留所で、一番利用が多い「手代木団地」を確認した。昨年10月に松代南循環が始まっているので、9月に松代循環を利用した人数と、10月に松代循環と松代南循環を利用された人数を調べたところ、乗車降車共に松代循環が1ヶ月で約100人減っていたので、松代循環を使っていた方が松代南循環を使うようになった可能性があると考えている。完全に松代南循環へ流れたのか、たまたま松代南循環のバスが来たのでそちらに乗ったのかというのは分からない状況。

○委 員：1日当たりでいうと、僅かな影響かと思う。

○会 長：次回は比較ができるように松代循環の利用者数も掲載していただけたらと思う。

## 様式第1号

○委員：先週、つくば市担当者につくばね号の沿線区長及び民生委員に集まっていたいただき、意見交換会を行った。運行開始後の利用者数は、目標である1便あたり1.0人以上を達成できていない状況である。理由として、筑波山繁忙期は道路混雑状況を踏まえ、部分運休を実施していることが考えられる。意見交換の場では、終日部分運休するのではなく、渋滞が発生している日中に限るのはいかがでしょうかという意見が出ていた。これからも私共の地域としてはつくばね号を継続したいという思いがあるため、定期的に意見交換会を開き検討していきたい。

○会長：松代南循環の利用者が想定よりも少ないので、利用促進策など、引き続き検討してほしい。

### ・報告案件2 つくタクの予約回数について

●事務局：資料6に沿って、つくタクの予約回数について説明。

○会長：つくタクは電話予約だが、電話をかけてきた方が何回予約しているかというのはその場で確認できるのか。

●事務局：電話を受ける予約センターの方で、個人情報が出てくるので、そこで回数の確認ができる。

○会長：同じ電話でないと予約ができないのか。

●事務局：携帯電話でも家の電話でも問題はない。ただ、番号が複数登録できているかどうかは、運営受託会社であるセキショウキャリアプラスに確認しないとわからない。

○委員：つくタクのシステムで利用者登録をする際に、複数の電話番号を登録できる。初めての番号であったとしても人物を特定することは予約センターで行っているため問題ない。

○委員：牛久市では無断キャンセルを2回行くと、1か月の利用停止になるとのことだが、なかなか厳しいペナルティのように感じる。

●事務局：無断キャンセルをする方にペナルティを課すのはリスクがあるので慎重に考えている。上限の設定を設けていないので、予約をたくさん取っておき、自分の予定と合わせて使わない日を当日になってやめるという傾向が見えているため、上限を4回と設ければ本当に使う時にしか予約をしないので、後で無断キャンセルをする

ということが少なくなると考えている。

○委員：私の友人は高齢者が多く、つくたくをよく使う方が多い。とても便利だと言っている方と、予約がなかなか取れないと言う方がいる。無断キャンセルやお断りがあるとフェアじゃないと思う。将来的に、本当に用事があって乗りたい人に満遍なく使っていただける利便性のあるつくたくになればと思っている。そういう意味では上限回数の設定は、公平な乗車につながるのではないかと思う。

○会長：本件については、今回の委員の意見を踏まえ、令和5年度の協議会で審議を行っていただく。

・報告案件3 つくバス停留所のネーミングライツについて

●事務局：資料7に沿って、つくバス停留所のネーミングライツについて説明。

○会長：民間のバス停留所が同じところに建っていて、つくバスのバス停はネーミングライツで違うバス停留所になるというのは混乱を招くので例外にしたほうが良いと感じる。例えば「沼田南（バス停留所名）、わんわんランドにはここで降りると便利です」とアナウンスすることはできるのか。

●事務局：詳細は今後詰めていく。

○会長：毎年バス停留所名を変えると、施設費がかかってしまう。それをしなくても良い方法がよい。検討してほしい。

・報告案件4 つくタク小田シャトルの経路変更及びバス停留所の設置について

●事務局：資料8に沿って、つくバス小田シャトルの経路変更及びバス停留所の設置について説明。

○会長：具体的なことについてはスケジュール案のとおり進めてもらった上で、改めて本協議会で審議したい。

・報告案件5 つくばスーパーサイエンスシティ構想（医療 MaaS）について

●事務局：資料9に沿って、つくばスーパーサイエンスシティ構想（医療 MaaS）

について説明。令和3年度に医療 MaaS 実証実験を運賃無料で実施したが、令和5年度は持続可能なサービス検証のため、運賃有料で行うことを検討している。その際は、協議運賃になり、本協議会での審議が必要になるため、まずは報告をさせていただいた。内容が固まり次第、令和5年度の本協議会に付議する。

○会 長：近々に具体的なサービスが始まるような場所があるのか。

●事務局：規制改革を政府と調整しており、規制改革が成立したら、様々な分野で取り組みを進めて行きたいと考えている。規制改革のない所では、つくスマというアプリを昨年スマートフォンで使えるように実装した。その機能を向上させながら使えるようにしていきたいと考えている。今年2月にスタートアップパークと中央図書館で障害者の方が操る分身ロボットを導入した実証を行っている。こちらも来年度以降に、障害者の方の活躍を増やすという意味で、行政機関等で使っていきたい。

○会 長：私もつくスマを使い始めて1ヶ月程になる。バスロケーションシステムへのリンクもあり、どんどんアップデートされている。つくスマというアプリをまだ登録されていなかったら登録していただけたらと思う。

・ その他

●事務局：令和5年度第1回協議会は6月頃を予定。

以上